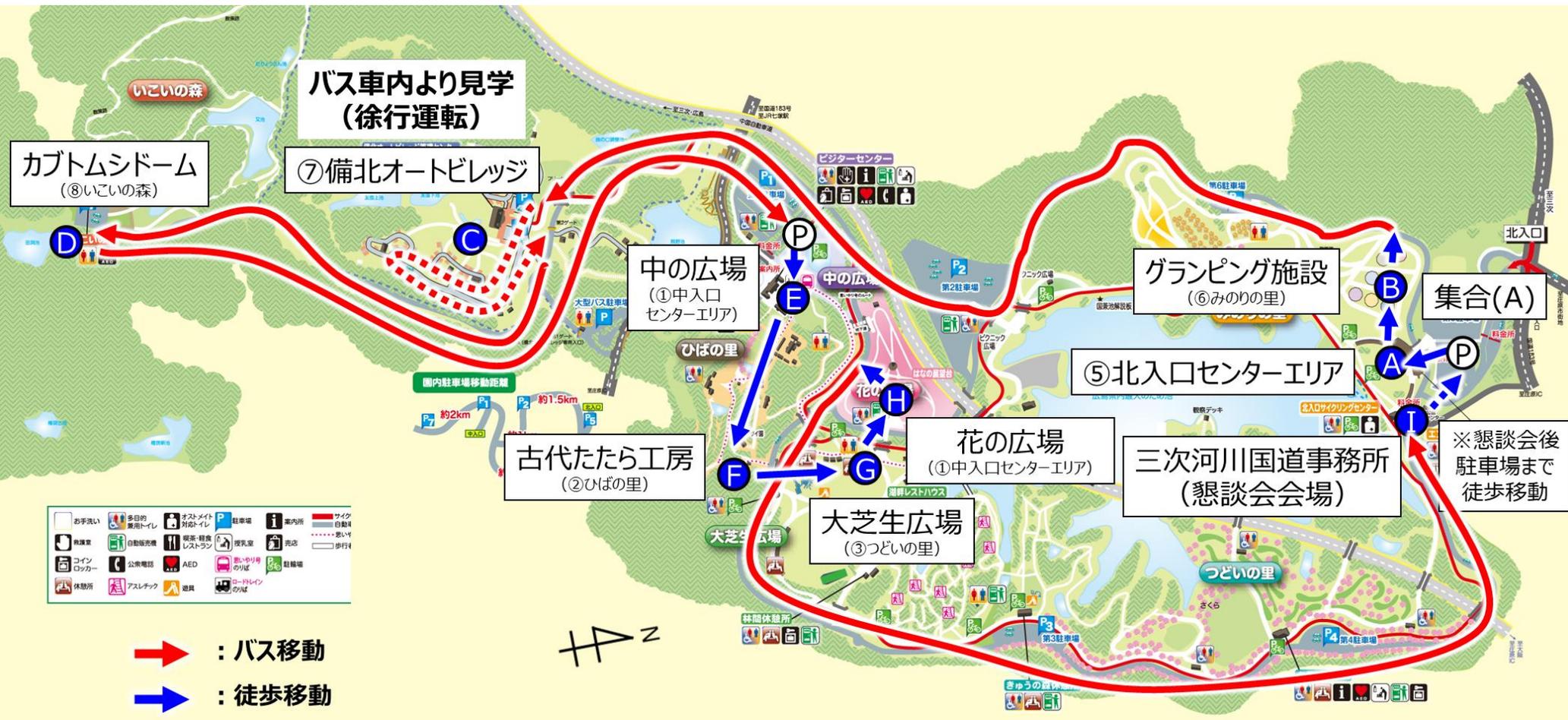


# 国営備北丘陵公園管理運営ビジョン検討懇談会 現地説明資料

---

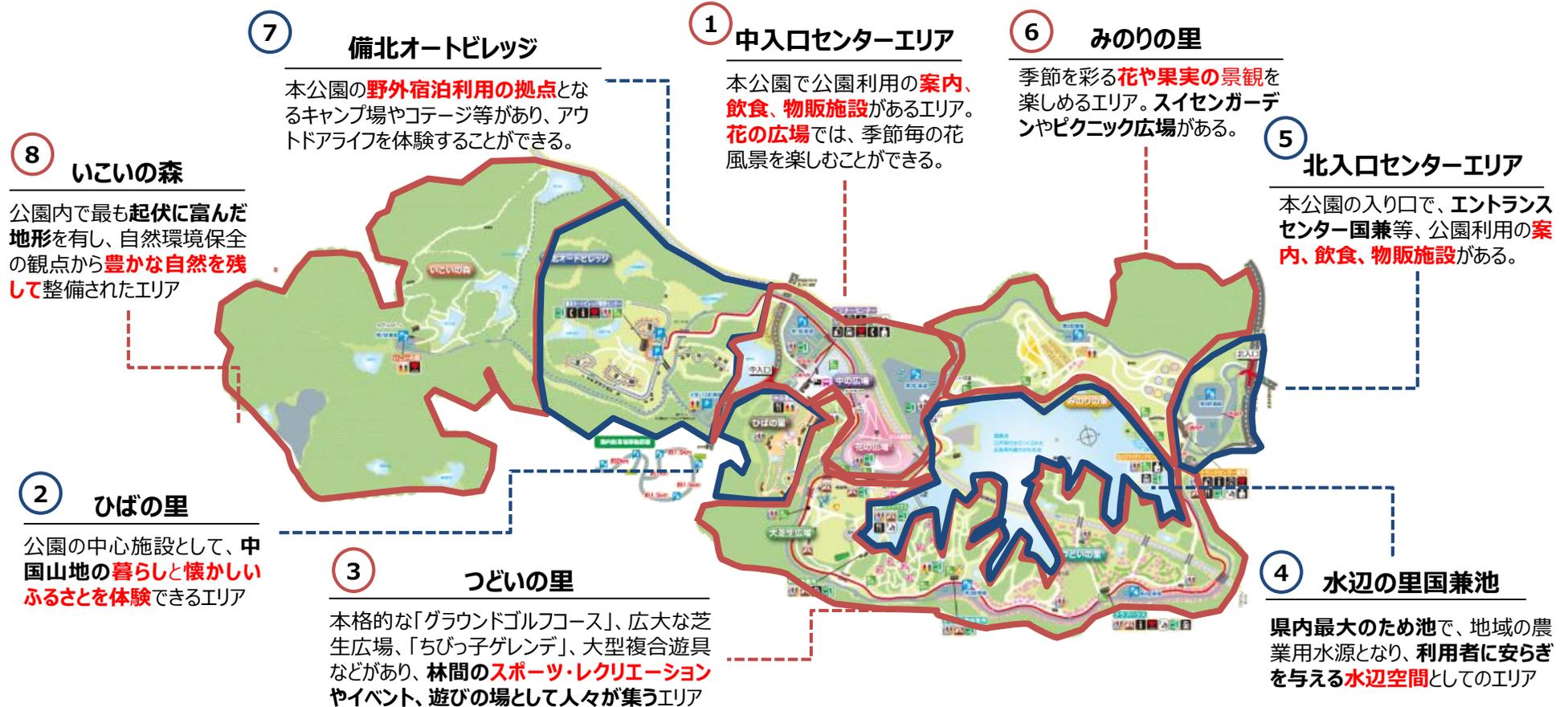
# 第2回懇談会 国営備北公園見学ルート



見学場所 (※当日の進行により、見学場所・時間が変更となる可能性があります)	見学時間
A.北エリア (⑤北入り口センターエリア) 、B.グランピング施設 (⑥みのりの里)	15分間
C.備北オートビレッジ (⑦備北オートビレッジ) <b>バス車内から見学</b>	5分間
D.カブトムシドーム (⑧いこいの森) <b>バス車内から見学</b>	5分間
E.中の広場 (①中入口センターエリア) 、F.ひばの里 (②ひばの里) 、G.大芝生広場 (③つどいの里) 、H.花の広場 (①中入口センターエリア)	35分間

# 国営備北丘陵公園の基本情報（エリア毎の整備の現況）

一部エリアの再編を行いながら順次開園し（平成24年全面供用）、現在は8つのエリア（**①中入口センターエリア**、**②ひばの里**、**③つどいの里**、**④水辺の里国兼池**、**⑤北入口センターエリア**、**⑥みのりの里**、**⑦備北オートビレッジ**、**⑧いこいの森**）で構成される。



# 見学箇所A：北エリア（⑤北入口センターエリア）

「北入口センターエリア」は、本公園の入り口であり、「エントランスセンター国兼」で公園利用の案内、飲食、物販を行っている他、バーベキューセンターやサイクリングセンターがある。

## 主要施設

- エントランスセンター国兼（「軽食きゅうくん」、「売店はなちゃん」）
- 第5駐車場
- 北入口サイクリングセンター
- 上水施設
- 湖畔広場
- 樹林地 他



エントランスセンター国兼



ドッグラン



軽食きゅうくん



北入口サイクリングセンター



湖畔広場

## 規模

12.8ha

# 見学箇所A (⑤北入口センターエリア) の現状と今後の取組の方向性 (案)



### ポテンシャル・課題

- 公園のエントランスのひとつであり、公園利用の起点となる
- 公園の園内消費の収入源でもある一方、2階をはじめとする施設利用率の低下が課題となっており、コンテンツや収益サービスの充実による魅力向上・消費拡大が必要
- 庄原市との連携を行っており、周遊観光につながるイベントやコンテンツを提供する場所として、機能強化が必要

## 本エリアで期待される機能

開かれたサードプレイスの提供

地域貢献・広域対流に繋がる持続的な観光振興

## 考えられる提供サービスの事例

- 全天候型遊戯室の拡充 (雨でも子どもが遊べるスポット)
- 快適ワークスペース
- 出張〇〇 (スーパー、図書館、教室、地域物産)
- 各地域の魅力を伝えるスポットとしてグルメ・グッズの紹介、提供

## 取組の方向性 (案) ※強化/新規

- 集客機能・コンテンツの充実と快適性の向上を図る
- 地域連携・周遊観光の拠点化

重点実施事項	◎	(地域と連携した) 集客機能の充実
	○	



【◎】とは、中期的な対応として、官民ともに積極的な取組を行い、民間事業者のノウハウの活用にも期待している部分  
 【○】とは、長期的に検討を行う部分として、当面現状の管理を行い、今後、施設の状況や利用者のニーズの変化に応じてサービス内容の適正化・柔軟な管理や利活用方法を検討していく部分

# 見学箇所B：グランピング施設（⑥みのりの里）

気候に左右されない快適なドーム型宿泊施設。

●基本情報（\*運営維持管理事業者（現事業者）が自主事業により設置・管理している）

名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>湖畔ステイズ庄原</li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>全7棟、3種類のタイプの部屋（湖畔レイクビュードーム、湖畔ドッグドーム、湖畔プレミアドーム）があり、全室、断熱性の高い2重張り構造でオールシーズン快適に過ごせる。各部屋、アメニティに加え、冷蔵庫や電子レンジといった一般家電も充実している。</li> <li>夕食には、地元食材を基本とするバーベキューセットを提供。朝食には、庄原猪ハムを使用したマフィンなどを用意している。素泊まりも可。</li> </ul>
面積・設備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>全室エアコン、wifi、コンセント完備。個別にシャワー、バスタブ、トイレが設備。雨天時もバーベキュー可能な構造となっている。</li> <li>湖畔プレミアドームの面積は78.5m<sup>2</sup>、天井高は4mと、国内でも有数の超大型グランピングドームである。</li> </ul>
営業時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックインは14:00～18:00、チェックアウトは10:00となっている。</li> <li>備北丘陵公園の休園日（毎週月曜および年末年始等）に準ずる。ただし、日曜夜の宿泊は可。</li> </ul>
利用料金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊料金には、当日及び翌日の公園入園料も含まれている。</li> <li>専用の宿泊予約サイトより予約可能。広島県民限定プランや期間限定プラン、早期予約プランを含め、様々なプランが設定されている。基本プラン料金（4名1棟利用時の1泊1名あたり料金）を下記料金表に記載。</li> </ul>

料金表（円）

ドームタイプ	素泊まりプラン	2食付きプランA*1	2食付きプランB*1
レイクビュードーム	10,000～ 22,000	15,900～ 27,000	19,200～ 31,200
ドッグドーム	13,200～ 24,200	19,100～ 30,100	22,400～ 33,400
プレミアドーム	11,000～ 22,000	16,900～ 27,900	20,200～ 31,200

\*1: プランAとプランBで食事内容が異なる。



湖畔レイクビュードーム



出典: <https://www.glamping-hiroshima.com/room/>

# 参考) 見学箇所B (⑥みのりの里)

「みのりの里」には、春は中国地方最大級のスイセンが観賞できるスイセンガーデンや、夏はネモフィラ・ヒマワリの花修景を楽しむことができるピクニック広場等がある。

## 主要施設

- スイセンガーデン
- 第6駐車場
- 芝生広場
- 東屋
- 樹林地
- ピクニック広場 他



スイセンガーデン



ピクニック広場

出典: [https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_minori.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_minori.html)

## 規模

36.6ha



グランピング施設「湖畔ステイズ庄原」

出典: <https://www.glamping-hiroshima.com/>

# 見学箇所B (⑥みのりの里) の現状と今後の取組の方向性 (案)



### ポテンシャル・課題

- スイセンガーデンを始めとする花修景はあるが季節が限定的であり、エリアの利活用に関する工夫が必要
- 現在は自主事業によるグランピング施設が設置されている

## 本エリアで期待される機能

公園及び市内への集客にぎわいの創出・波及

地域貢献・広域対流に繋がる持続的な観光振興

## 考えられる提供サービスの事例

- 食花体験
- 個人ミニ植物園、菜園
- 植物管理マスター実演講演会
- グランピング施設利用拡大 (長期滞在割、宿泊配信)

## 取組の方向性 (案) ※強化/新規

- 柔軟な管理・利活用方法の検討

重点実施事項	◎	
	○	柔軟な管理・利活用方法の検討



【◎】とは、中期的な対応として、官民ともに積極的な取組を行い、民間事業者のノウハウの活用にも期待している部分  
【○】とは、長期的に検討を行う部分として、当面現状の管理を行い、今後、施設の状況や利用者のニーズの変化に応じてサービス内容の適正化・柔軟な管理や利活用方法を検討していく部分

# 見学箇所C：備北オートビレッジ（⑦備北オートビレッジ）

全72区画のオートキャンプサイトに加え、19棟のコテージを設備。レンタル用品も充実している。

## ●基本情報

名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>備北オートビレッジ</li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートキャンプサイトでは、一般カーサイト38区画、フリーサイト21区画、キャンピングカーサイト13区画を設けている。</li> <li>宿泊施設として、キッチンやトイレ、シャワー等を完備した19棟のコテージを宿泊施設として設けている。</li> <li>キャンプ場内には、炊事場、シャワー棟の他に子供が楽しめる体験施設（じゃぶじゃぶ池、イベント広場）を完備している。</li> </ul>
面積・設備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプ場全体の面積は46.5ヘクタール。一般カーサイトは1区画あたり100m<sup>2</sup>、コテージは延べ床面積で38～81m<sup>2</sup>。</li> <li>管理センター(延床面積832m<sup>2</sup>)ではキャンプ用品のレンタルが可能。その他、共用の入浴施設やトイレ、コインランドリー、売店等を完備。</li> </ul>
営業時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲート開閉時間は7:00～21:30。チェックイン受付時間は14:00～18:00。コテージは11時、キャンプサイトは12時までにはチェックアウト。</li> <li>備北丘陵公園の休園日（毎週月曜および年末年始等）に準ずる。ただし、日曜夜の宿泊は可。</li> </ul>
利用料金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園料450円の他に宿泊費と施設維持費400円（小中学生無料）が必要。</li> <li>サイト利用料金、キャンプ用品レンタル料金、その他設備利用料金については次頁参照。</li> </ul>



コテージ(4人用、バリアフリー対応)



出典：[https://www.bihokupark.jp/village/autoVillage\\_syukuhaku.html](https://www.bihokupark.jp/village/autoVillage_syukuhaku.html)

オートキャンプサイト



出典：[https://www.bihokupark.jp/village/autoVillage\\_camp.html](https://www.bihokupark.jp/village/autoVillage_camp.html)

## 参考) 見学箇所C (⑦備北オートビレッジ)

備北オートビレッジの主要建築物は1997~2000年に整備されており、老朽化が進んでいる。

公園施設名	数(箇所)	構造	延床面積 (㎡)	竣工年
備北オートビレッジ管理センター	1	木造 (2F)	834.0	1998
共同利用施設A-1	1	木造 (1F)	131.0	1997
共同利用施設A-2~4	3	木造 (1F)	131.7	1997
共同利用施設B	1	木造 (1F)	100.0	2000
コテージA	2	木造 (2F)	81.2	1997
コテージB	1	木造 (2F)	51.6	1998
コテージC	3	木造 (1F)	38.3	1998
コテージD	1	木造 (2F)	64.1	1998
コテージ身障者用A	1	木造 (2F)	64.1	1998
コテージD	3	木造 (2F)	49.1	1998
コテージ身障者用B	1	木造 (2F)	49.1	1998
コテージD	4	木造 (2F)	49.1	1999
コテージC	2	木造 (2F)	49.1	2000
コテージE	1	木造 (1F)	74.0	2000
シャワー棟	1	木造 (1F)	60.7	1998
プロパン庫	1	CB造 (1F)	8.2	1997
木もれびの里トイレ	1	木造 (1F)	33.8	2000
備北オートビレッジトイレ	1	木造 (1F)	26.3	2000
コテージE	1	木造 (1F)	74.0	2000

# 見学箇所C (⑦備北オートビレッジ) の現状と今後の取組の方向性 (案)



オートキャンプサイト



コテージ

### ポテンシャル・課題

- オートキャンプ場として、宿泊拠点・アウトドア体験を提供しているが、**設置から20年を経過する施設の老朽化が顕著であり、計画的な更新・修繕が必要**
- **キャンプレジャーも多様化しており、新たな利用者層の獲得に向け、ニーズに応じた魅力的な施設の設置等も考えられる**

## 本エリアで期待される機能

自然環境・文化への触れ合い  
・体験の提供

魅力ある暮らしと交流の場の形成

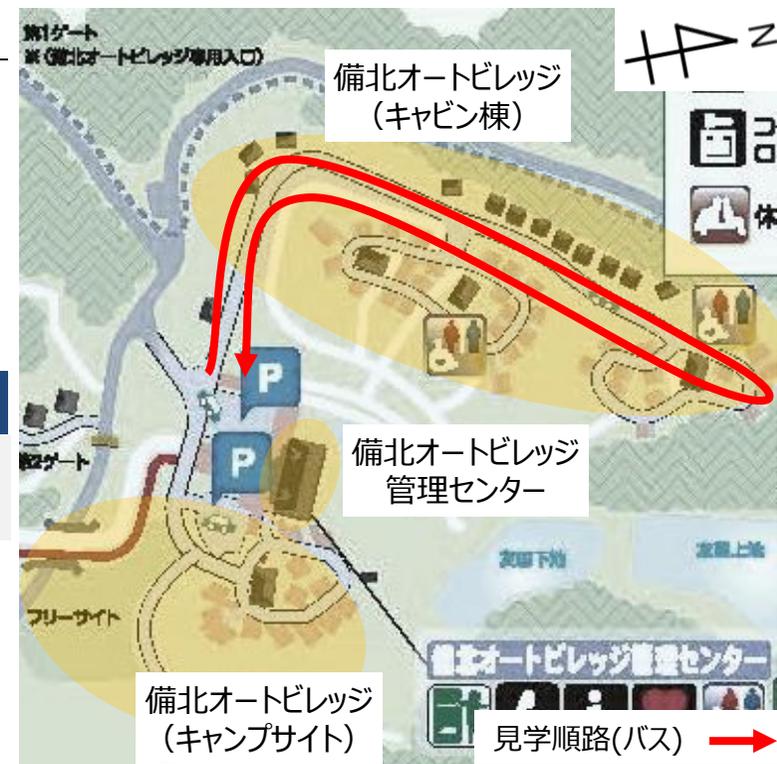
## 考えられる提供サービスの事例

- 手ぶらキャンプ
- ソロキャンプ特化
- キャンプ配信割
- キャンピングカーレンタル
- キャンプ用品展示会

## 取組の方向性 (案) ※強化/新規

- **利用率・収益性に見合った施設・サービスの適正化**
- **利用率の向上に資する再投資**

重点実施事項	◎	施設の修繕更新・一部廃止
	○	宿泊機能・日中利用の強化



【◎】とは、中期的な対応として、官民ともに積極的な取組を行い、民間事業者のノウハウの活用にも期待している部分  
 【○】とは、長期的に検討を行う部分として、当面現状の管理を行い、今後、施設の状況や利用者のニーズの変化に応じてサービス内容の適正化・柔軟な管理や利活用方法を検討していく部分

# 見学箇所D：いこいの森（⑧いこいの森）

「いこいの森」は、自然環境の保全に重点を置き、公園内で最も起伏に富んだ地形を有し、自然環境保全の観点から豊かな自然を残して整備されている、多様な動植物が生育・生息する自然環境が残るゾーン。

## 主要施設

- 第7駐車場
- いこいの森広場
- トイレ
- 南臨時駐車場
- 散策路
- 田淵池
- 日の本池他



カブトムシドーム



## 規模

109.3ha



又池コースの散策路

# 見学箇所D (⑧いこいの森) の現状と今後の取組の方向性 (案)



又池コースの散策路



カブトムシドーム

### ポテンシャル・課題

- 自然環境の保全の実践・ふれあい機会の提供エリア
- カブトムシドームが自然に触れあう集客コンテンツの目玉となっているものの、期間が限定的
- 散策路等の利用者のための維持管理費も相応に発生しており、利用が少ない範囲について管理水準の検討が必要

## 本エリアで期待される機能

## 考えられる提供サービスの事例

自然教育・実証研究の場の提供

- 学校フィールドワークの場
- ガイドによる自然・森林体験ツアー
- ソロ (ワイルド系) キャンプ

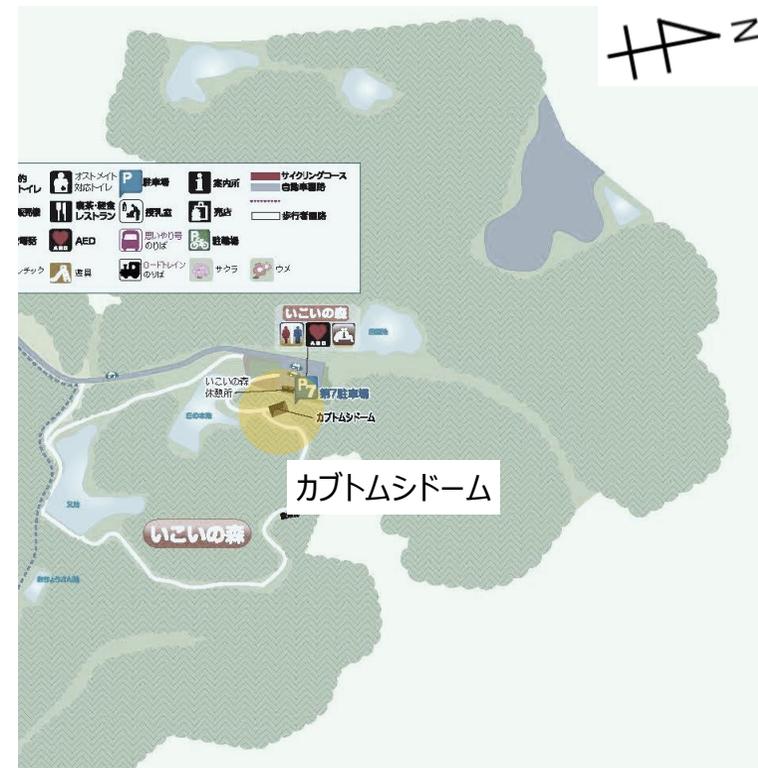
自然環境・文化への触れ合い・体験の提供

- トレイルランニング/オリエンテーリングスポーツ大会
- サバゲー

## 取組の方向性 (案) ※強化/新規

- 柔軟な管理水準の見直しを図る
- 自然環境の保全・体験に係るボランティア活動の継続

重点実施事項	◎ 自然体験や自然環境教育の充実
	○ 散策路の一部廃止・適正化



【◎】とは、中期的な対応として、官民ともに積極的な取組を行い、民間事業者のノウハウの活用にも期待している部分  
 【○】とは、長期的に検討を行う部分として、当面現状の管理を行い、今後、施設の状況や利用者のニーズの変化に応じてサービス内容の適正化・柔軟な管理や利活用方法を検討していく部分

⑧いこいの森の周辺には県立畜産技術センターや県立広島大学など公園と関わりの深い施設が存在している。

## 県立畜産技術センター（七塚原高原）



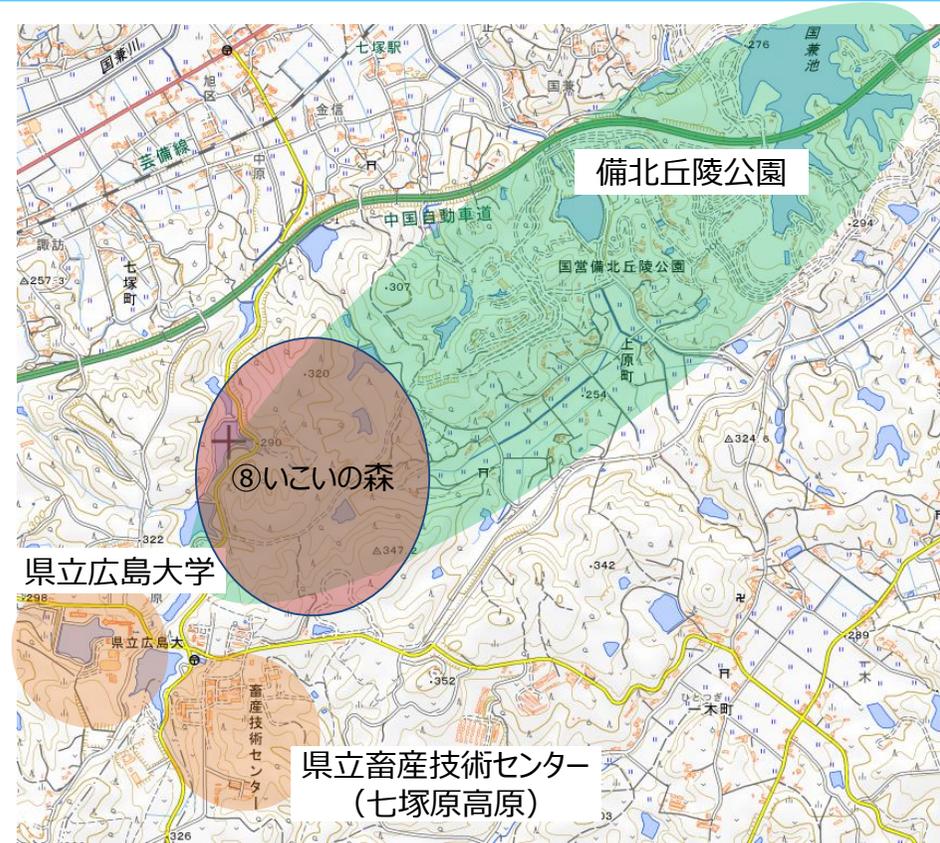
- 1900年に日本で初めての国立種牛牧場が創設
- 以来、畜産の試験研究機関として歴史を重ね、現在は県立畜産技術センターとして畜産の研究が進められている
- ポプラ並木や広い牧草地の景観を楽しみながら散歩やランニング・サイクリングなども楽しめる

出典：庄原観光ナビ<https://www.shobara-info.com/2817>

## 県立広島大学（庄原キャンパス）



出典：県立広島大学<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/syoubara-campus/>



- 庄原市の南西約 10 km に位置し、三次市とも接する七塚原高原の近くにある、自然豊かな環境。付近にはキャンパス・附属施設が位置し、広島県立畜産技術センター、国営備北丘陵公園（いこいの森）が隣接している。
- 官民共同研究や地域と学生交流を活性化するため、公園北口エリアのエントランスセンター国兼の2階スペースを活用したサテライトラボを設置し利活用を行っている。（R6設置）

# 見学箇所E：中の広場（①中入口センターエリア）

本公園の入り口であり、公園利用の案内、飲食、物販施設が充実している。

## ●基本情報

名称	・ 中の広場
面積・設備等	・ 規模は18.4ヘクタール（中の広場・花の広場・管理エリア合計の値）。各建物の面積は下記の面積一覧を参照。

## ●各施設詳細情報

項目	建築面積	延床面積	設置年数	構造	売上実績（H30～R3平均）
ビジターセンター	877.00㎡	1,321㎡	1995年	RC造2階建	—
売店「ランバス」					18,747千円
食堂「中の茶屋」	193.2㎡	227.4㎡	1995年	木造2階建	28,291千円

ビジターセンター



出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_naka.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_naka.html)

売店ランバス



出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_naka.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_naka.html)

中の茶屋



出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_naka.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_naka.html)

# 見学箇所F：ひばの里（②ひばの里）

備北地方の伝統的な里山建築、文化、生活様式を見学・体験することが出来る。

## ●基本情報

名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひばの里</li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な建物は以下の通り。その他に、神楽殿や参集殿、農家や田んぼなどがある。</li> <li>さとやま屋敷：備北地方の代表的な屋敷を模した建物。囲炉裏端で季節のもてなしやけん玉、お手玉など遊具体験ができる。</li> <li>さとやま展示館：中国山地の伝統的な生活や文化、備北地方の自然や観光情報などを紹介している。</li> <li>各種工房：わら細工や陶芸、木工、たたら鉄づくりなど、工房によって様々な体験教室が開催されている。</li> </ul>
面積・設備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>場内にはトイレを設備している。樹林地を除くと敷地面積は8.6ヘクタール。各建物の面積は下記の面積一覧を参照。</li> </ul>
営業時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>備北丘陵公園の営業時間（9:30開園。閉園は時期により異なるが、原則16:30～18:00。月曜定休）に準ずる。</li> </ul>
利用料金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して各種展示会や体験教室を無料で実施。</li> <li>季節によって異なる体験教室やイベント（古代たたら鉄づくり体験、田植え体験、ほたる観察会、稲こぎ体験、新春餅つき等）を開催。料金は200～1,000円程度。</li> </ul>

## 主要建物面積一覧

建物名	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )
やきもの工房	木造	182.45
木工房	木造	192.4
たたら工房	木造	284.22
さとやま屋敷	木造	902.1
さとやま展示館	RC造	258.25
神楽殿・参集殿	木造	
上の農家	木造	192.31
下の農家	木造	210.24



さとやま屋敷



出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_hiba.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_hiba.html)

# 見学箇所F (②ひばの里) の現状と今後の取組の方向性 (案)



### ポテンシャル・課題

- 中国地方における里山の風景を再現し、年間を通じた様々なイベントによる**園内体験の目玉のひとつ**
- 文化継承やボランティア活動の場としても利用されており、**さとやま屋敷は質の高い管理がされている一方で、利用率の低い施設もあり、施設管理と利用のバランスを図る必要がある**

### 本エリアで期待される機能

- 自然環境・文化への触れ合い・体験の提供
- 地域特有の歴史・文化の継承・活性化に寄与
- 地域貢献・広域対流に繋がる持続的な観光振興

### 考えられる提供サービスの事例

- 習字大会
- こいのぼり作り
- 地域の児童のふるさと発見発表の場
- 展示物保存ノウハウ講習会
- 里山の体験型高級ステイの提供
- 庄原の今昔写真展

### 取組の方向性 (案) ※強化/新規

- 歴史・文化の紹介機会・体験機会の充実を図り、地域の文化的資源との連携も推進
- 一部施設・サービスの高付加価値化による収益の拡大

重点実施事項	◎ 体験コンテンツ (歴史・文化・自然) の充実
	○ 高付加価値施設への転換



【◎】とは、中期的な対応として、官民ともに積極的な取組を行い、民間事業者のノウハウの活用にも期待している部分  
 【○】とは、長期的に検討を行う部分として、当面現状の管理を行い、今後、施設の状況や利用者のニーズの変化に応じてサービス内容の適正化・柔軟な管理や利活用方法を検討していく部分

# 見学箇所G：大芝生広場（③つどいの里）

約8ヘクタールの広大な広場。

## ●基本情報

名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>大芝生広場</li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>1階がレストランとなっている湖畔レストハウス、2万人収容可能な芝生の観客席のある野外ステージ、大型複合遊具きゅうの丘、国兼池に架かるつどい橋がある。</li> </ul>
営業時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>備北丘陵公園の営業時間（9:30開園。閉園は時期により異なるが、原則16:30～18:00。月曜定休）に準ずる。</li> <li>湖畔レストハウス併設のレストランは通園営業ではなく、土、日、祝、その他イベント開催期間中に限り営業。</li> </ul>

## ●各施設詳細情報

項目	建築面積	延床面積	設置年数	構造	売上実績( H30～R3平均 )
湖畔レストハウス	508.66㎡	674.46㎡	2001年	S造2階建	10,027千円



湖畔レストハウス



出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_shibafu.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_shibafu.html)

野外ステージ



出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_shibafu.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_shibafu.html)

# 参考) 見学箇所G (③つどいの里)

「つどいの里」では、約8haの広大な芝生広場に、2万人収容可能な芝生の観客席のある「野外ステージ」や、子供達に大人気の大型複合遊具「きゅうの丘」がある。その他、4コース32ホールの本格的なグラウンド・ゴルフコースや、キャッチボールなどスポーツを楽しむことができる。

## 主要施設

### 【大芝生広場】

- 芝生広場
- 芝生広場休憩所レストラン「湖畔レストハウス」
- バーベキューコーナー
- ちびっこゲレンデ
- パーゴラ

### 【大芝生広場トイレ 他】

- 【林間アスレチックコース】
- 林間アスレチック
- 林間休憩所 他

### 【グラウンド・ゴルフコース】

- クラブハウス
- 第4駐車場 他

### 【スポーツ広場】

- つどい里トイレ 他

## 規模

72.4ha



大型複合遊具  
「きゅうの丘」



ちびっこ  
ゲレンデ



林間  
アスレチック



林間休憩所



野外ステージ



バーベキュー  
コーナー



湖畔レストハウス

# 見学箇所G (③つどいの里) の現状と今後の取組の方向性 (案)



### ポテンシャル・課題

- グラウンドゴルフ、軽スポーツや大型遊具、林間アスレチックなど**多様なアクティビティを提供**
- 一方、芝生広場・屋外ステージの**大規模イベント利用率は低く**、今後のニーズを踏まえた提供アクティビティの見直し、イベントの強化（イベントの幅、地域連携等）が必要
- レストハウスは利用期間が限られており、**収益率が低い**

## 本エリアで期待される機能

- 開かれたサードプレイスの提供
- 魅力ある暮らしと交流の場の形成
- 公園及び市内への集客・にぎわいの創出・波及

## 考えられる提供サービスの事例

- フットゴルフ、ピククルボールなど新しいスポーツ等の体験
- ソロ（ワイルド系）キャンプ
- 公園内大逃走中イベント
- グラウンド・ゴルフ広域交流、スポーツグッズ販売会
- 地域周遊フリーパス等

## 取組の方向性 (案) ※強化/新規

- 自然を活かした**多様なレクリエーション、アクティビティの充実・集約**を図る
- 消費拡大につながるイベント等の誘致**

重点 実施 事項	◎	必要に応じたイベント誘致、アクティビティの適正化
	○	



【◎】とは、中期的な対応として、官民ともに積極的な取組を行い、民間事業者のノウハウの活用にも期待している部分  
 【○】とは、長期的に検討を行う部分として、当面現状の管理を行い、今後、施設の状況や利用者のニーズの変化に応じてサービス内容の適正化・柔軟な管理や利活用方法を検討していく部分

# 見学箇所H：花の広場（①中入口センターエリア）

1.5ヘクタールの土地に様々な季節の花が咲く。

## ●基本情報

名称	• 花の広場
概要	• 1.5ヘクタールの広場には、春、秋でそれぞれ季節の花が咲き、はなの展望台から一望することが出来る。花の広場の東側には、国兼池に架かるつどい橋がある。
営業時間	• 備北丘陵公園の営業時間（9:30開園。閉園は時期により異なるが、原則16:30～18:00。月曜定休）に準ずる。

## ●各施設詳細情報

項目	建築面積	延床面積	設置年数	構造
展望台	184.17m <sup>2</sup>	367.1m <sup>2</sup>	2017年	鉄骨造



はなの展望台



出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_hana.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_hana.html)

つどい橋



出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_hana.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_hana.html)



- ### ポテンシャル・課題
- 花の広場は春・秋・冬 (イルミ) において集客の中心として活用されている
  - 一方で修景にかかる維持管理費も大きく、一定の閉鎖期間が発生しており、閉鎖期間中の公園全体の利用に関する工夫が必要
  - 庄原の旧学校を模した特徴的な意匠のビジターセンターは園内の大きな収入源となっており、魅力向上・消費拡大が必要

### 本エリアで期待される機能

公園及び市内への集客・にぎわいの創出・波及

地域振興・活躍人口の創出

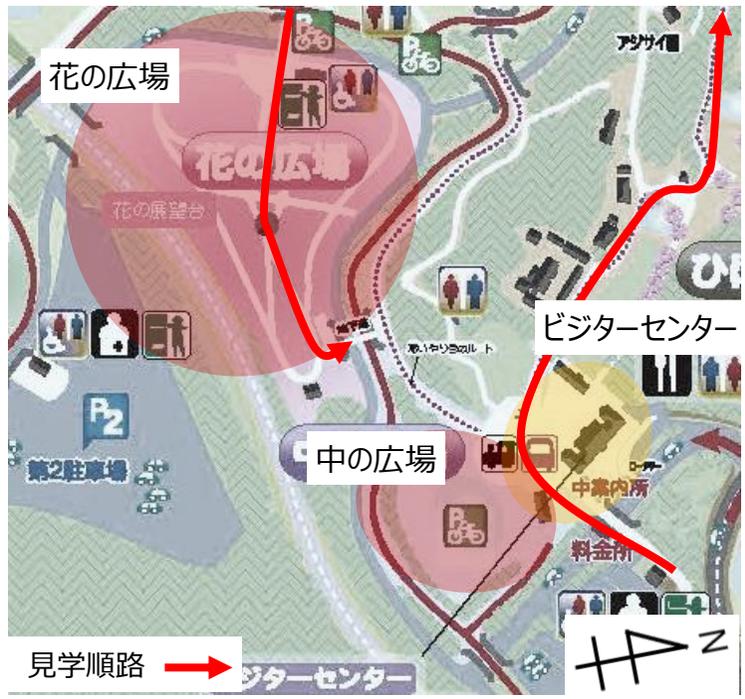
### 考えられる提供サービスの事例

- ビジターセンターでのご当地グルメフェスの開催
- インフルエンサーや人気コンテンツとのコラボイルミ
- 地域の活動団体等への施設の貸し出し

### 取組の方向性 (案) ※強化/新規

- 花修景や収益施設の充実により、公園の見どころとして集客力を向上
- 新たな客層の獲得に向けたブランディング活動の中心として機能

重点実施事項	◎	集客機能の充実、ブランディング (花・イルミ) 強化
	○	修景内容の見直し



【◎】とは、中期的な対応として、官民ともに積極的な取組を行い、民間事業者のノウハウの活用にも期待している部分  
 【○】とは、長期的に検討を行う部分として、当面現状の管理を行い、今後、施設の状況や利用者のニーズの変化に応じてサービス内容の適正化・柔軟な管理や利活用方法を検討していく部分

# 見学対象外：国兼池（④水辺の里国兼池）

「水辺の里国兼池」エリアでは、国兼池でカヌー体験、野鳥の観察、スポーツフィッシングを楽しむことができるほか、国兼池に面した約 1 ha の芝生広場はゆったりとした眺望を眺めながら水と緑と花を体現できる。

国兼池は農業用のため池であるため、利用は安全管理、水質管理上使用のない方法に限定される。

## 主要施設

- 国兼池
- つどい橋
- ウッドデッキ



水辺の里国兼池 カヌー体験

出典：<https://www.bihokupark.jp/special/act/event/activity-event/1208>



国兼池沿いのサイクリングコースと  
国兼池フィッシングエリア

出典：<https://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/park/pdf/p08/0802.pdf>

## 規模

27.6ha



つどい橋

出典：[https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap\\_hana.html](https://www.bihokupark.jp/parkMap/parkMap_hana.html)

# ④水辺の里国兼池の現状と今後の取組の方向性（案）



### ポテンシャル・課題

- 県内最大のため池である国兼池の景観・環境を活かしたカヌー体験や野鳥観察、フィッシングエリアとなっている一方、ウッドデッキ等の一部施設は老朽化が著しく、計画的な更新修繕が必要
- 水辺を生かしたエリアの魅力向上や快適性の向上が必要
- 一部の施設の高付加価値化による消費の創出可能性がある

## 本エリアで期待される機能

- 自然環境・文化への触れ合い・体験の提供
- 魅力ある暮らしと交流の場の形成
- 地域貢献・広域対流に繋がる持続的な観光振興

## 考えられる提供サービスの事例

- 初心者が気軽に参加できるカヤック、SAP、釣り体験ツアーの開催
- ゆっくりできる景観を生かした写真撮影スポット、ミニテントの整備
- 景観を楽しむ高級感のある休憩テラスの設置

## 取組の方向性（案） ※強化/新規

- エリアへの滞留の向上・快適性の向上に資する施設の適正化・再投資

重点実施事項	◎ アクティビティの適正化、自然体験・学習の充実
	○ 高付加価値な施設の設置、施設・園路等の更新修繕



【◎】とは、中期的な対応として、官民ともに積極的な取組を行い、民間事業者のノウハウの活用にも期待している部分  
 【○】とは、長期的に検討を行う部分として、当面現状の管理を行い、今後、施設の状況や利用者のニーズの変化に応じてサービス内容の適正化・柔軟な管理や利活用方法を検討していく部分

# 参考) 国営備北丘陵公園の基本情報 (公園の理念等)

項目	内容
名称	国営備北丘陵公園
種別	イ号国営公園
所在地	広島県庄原市三日市町4-10
事業着手年度	昭和57年度
供用開始年度	平成7年度
公園管理者	中国地方整備局
敷地面積	約338.8ha
概要	国兼池とアカマツ林を主体とした丘陵地を有する、中国地方で唯一の国営公園
入園者数	開園（H7年度）から令和4年度までの入園者数の累計は約1181万人。新型コロナ前の7年間は平均48万人/年、令和4年度は約46万人程度。



図：公園の位置

## 基本理念

- ① 緑豊かな自然へのいざない
- ② 中国地方の歴史や文化とのふれあい
- ③ 多様なレクリエーションへのしたしみ
- ④ 周辺環境とのつながり

## 基本テーマ

- ・「ふるさと・遊び」

## 基本方針

- ① 国兼池を中心とした湖畔景観や、丘陵景観等の自然を生かした公園
- ② 中国地方の古い文化の継承や、新しい文化をはぐくむことのできる公園
- ③ 四季にわたる多様なレクリエーションに対応できる公園
- ④ 中国地方の全域から利用できる公園
- ⑤ 地域とのふれあいのできる公園

## 年間の主要イベント

- ・ 自然や四季折々の花木を生かした自主イベントを開催しており、特に主要イベント（赤柶）の開催時は年間入園者数の約8割を集客している。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<b>備北花ピクニック</b> 	<b>初夏の花物語</b> 	<b>備北夏まつり</b> 	<b>備北コスモスピクニック</b> 		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>備北コスモスピクニック</b> 	<b>備北イルミ</b> 	<b>冬咲きぼたん展</b> 	<b>備北花ピクニック</b> 		